

Ver.2004 : Windows 10 May 2020 Update
 Ver.1909 : Windows 10 November 2019 Update
 Ver.1903 : Windows 10 May 2019 Update
 Ver.1809 : Windows 10 October 2018 Update

製品名	現行バージョン	~	~	Ver.2004	対応予定バージョン	対応時期・備考
		Ver.1809 対応状況	Ver.1909 対応状況			
QND Standard	Ver.11.0i(*)	○	△	△		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります。 「プラン手準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます。 * Ver.10.4iでも同様
	SPM Ver.3.9i	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・コンバート実行中にリフレッシュPCを利用した条件の更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります。 現象発生時はタスクマネージャからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いいたします。
	QPM Ver.1.2i SP11	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
QND Advance	Ver.11.0i(*)	○	△	△		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります。 「プラン手準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます。 * Ver.10.4iでも同様
	SPM Ver.3.9i	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・コンバート実行中にリフレッシュPCを利用した条件の更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります。 現象発生時はタスクマネージャからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いいたします。
	QPM Ver.1.2i SP11	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
	License Guard Ver.5.2	○	○	○		
	URL Filtering Ver.5.1	○	○	x		■Ver.1903/1909 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません ■Ver.2004 動作検証中
	QND ClientLog Ver.2.6.11i (*1)(*2)	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します。 ・260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する。
QND Premium	Ver.11.0i(*)	○	△	△		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません ・アプリケーションDBで、Windows Sandboxの起動を禁止できません 【注意事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、ソリューション利用時に次の注意事項があります。 「プラン手準備レベル: SACT」を設定したタスクを実行しても、OSの動作に反映されません。インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます。 * Ver.10.4iでも同様
	SPM Ver.3.9i	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・コンバート実行中にリフレッシュPCを利用した条件の更新スケジュールを実行するとSPMコンソールがフリーズすることがあります。 現象発生時はタスクマネージャからSPMコンソールを終了し再度コンソールを起動するようお願いいたします。
	QPM Ver.1.2i SP11	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です
	URL Filtering Ver.5.1	○	○	x		■Ver.1903/1909 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません ■Ver.2004 動作検証中
	QND ClientLog Ver.2.6.11i (*1)(*2)	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します。 ・260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する。
	QND ClientLog Ver.2.6.11i (*1)(*2)	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です *1 Ver.2.6.10でも同様 *2 QCL Ver.2.6.9では以下の事象が発生します。 ・260文字以上のフォルダパス上でファイル操作をすると、QCLクライアントが異常終了する。
ISM CloudOne	Ver.6.8i(*)	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Subsystem for Linuxのファイルシステムに対する配布はできません ・Windows 10 v1903でSemi-Annual Channel (Targeted) の設定が廃止されたため、Windows 10 Update設定利用時に次の注意事項があります。 「更新モデルを指定する: SACT」を選択しても、OSの動作に反映されません。 ※インベントリ収集すると「SACT」として情報が取得されます。 * Ver.6.6i / 6.7iでも同様
	外部メディア制御 (オプション) Ver.6.8i(*)	○	△	△		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・外部メディア制御機能が有効の場合、Windows Sandboxは起動しません * Ver.6.6i / 6.7iでも同様
	操作ログ (オプション) Ver.6.8i(*)	○	○	○		* Ver.6.6i / 6.7iでも同様
	ふるまい検知 (オプション) Ver.3.3.1	○	○	○		
	ディスク暗号化 (オプション) 82.10.9575	○	○*	x		* 対応状況についてはサービス事業者もしくは販売店までお問い合わせください。
	URL Filtering (オプション) Ver.5.1	○	○	x		■Ver.1903/1909 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です ・Windows Sandbox内のブラウザおよびアプリの通信は制御されません ■Ver.2004 動作検証中
KeyServer Ver.7.6	○	○	○		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows Sandbox内にインストールした場合は動作保証外です	
eX WP Ver.4.4i SP5	○	△	x		■Ver.1903/1909 【情報事項】 ・RP1モード、またはRP2モードの場合、Windows Sandboxは起動しません ■Ver.2004 動作検証中	
QQR Ver.1.4	○	○	x		■Ver.2004 動作検証中	
Quality Gaaiho PDF Suite Ver.5.21	○	△	△		■Ver.1903/1909/2004 【情報事項】 ・Windows 10 1903においてGaaiho PDF Suiteインストール時、あるいはGaaiho DocからデフォルトのPDFビューアをGaaiho Docに変更しても、設定が変更されません。	
Quality Gaaiho PDF Server Ver.2	x	x	x	未定		
DKS Plus Ver.2.4	○	○	x		■Ver.2004 動作検証中	

製品名	実行バージョン	macOS (10.15)		
		対応状況	対応予定バージョン	対応時期・備考
QND Advance/Premium/Standard	Ver.11.0(*)	x	未定	<p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TCP増大接続機能を利用できません。 ・任意のコンテンツに収集時、姓・名のデータが送転する場合があります。 ・macOS 10.13.4より、Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)、フォント情報収集プラグイン(BizPackFont)のインベントリを実行した際にクライアントにて各々一度だけ警告ダイアログが表示されます。本警告表示に関しては、Webページ(https://support.apple.com/ja-jp/ht208436)を参照ください。 ・Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)または、フォント情報収集プラグイン(BizPackFont)を取得する設定のタスクを実行した際にエージェントが終了しない場合があります。 ・Adobe製品情報収集プラグイン(AdobeInfo)のインベントリ情報が取得できません。 ・リモートコントロールできません。 ・配布した任意のセットアッププログラムが起動しません。 ・QNDクライアントのアンインストール時にインストールフォルダの一部ファイルが残存します。 <p>* Ver.10.3i SP3/Ver.10.4でも同様</p>
QND ClientLog	Ver.2.6.11i	○	-	<p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像収録設定(*)でQND ClientLogクライアントを許可する必要があります。 ・(*)画像収録で許可する手順 1. 端末上で任意の操作ログアラートを発生させる 2. OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」-「画像収録」からQND ClientLogクライアントを許可する
ISM CloudOne	Ver.6.8i	△	未定	<p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISMクライアントのインストール時に、ファイルへのアクセスを許可する必要があります。 ・Ver.6.8i以前のISMクライアントをインストールした状態でmacOS 10.14からmacOS 10.15にアップデートすると、ISMクライアントが動作しません。 ・ISMクライアントの起動を許可しない場合、アラート通知メッセージ通知が表示されません。 ・画像収録設定(*)でISMクライアントを許可していない場合、操作ログアラート発生時のスクリーンショットが壁紙とメニューバーのみ表示になります。 <p>また、デスクトップに表示しているアプリケーションの情報は表示されません。</p> <p>(*)画像収録で許可する手順</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 端末上で任意の操作ログアラートを発生させる 2. OS標準の「システム環境設定」アプリの「セキュリティとプライバシー」-「画像収録」からISMクライアントを許可する <p>macOS 10.14にISMクライアント(64bit版)をインストールした状態でmacOS 10.15にバージョンアップすると、外部デバイス制御や操作ログ取得が正常動作しない場合があります。</p> <p>※macOS 10.15にISMクライアントを新規インストールした場合は事象は発生しません。</p>
KeyServer	Ver.7.6	○	-	<p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(202001)適用により対応します。 ・KeyServer Ver.7.6 更新プログラム(202001)未適用の場合、macOS搭載のGatekeeperが、Apple社サーバへアクセスできる場合のみ公認済みとして動作します。

製品名	実行バージョン	iOS 13		
		対応状況	対応予定バージョン	対応時期・備考
ISM CloudOne	Ver.6.8i	△	未定	<p>【注意事項】</p> <p>インハウス版アプリはiOS11.0以降に非対応</p> <p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルによる端末制御ができません。 ・(*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。 ・なお、iOS12からバージョンアップした場合、前記で与えられているプロファイルが変更されるまでは非監視モードでも制御が可能です。変更されるまで非監視モードでも制御が可能です。変更されるまで非監視モードでも制御が可能です。変更されるまで非監視モードでも制御が可能です。 ・VPP機能が利用できません。 ・「設定アプリ」>「プライバシー」>「位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」にしなければ、位置情報を取得できません。 <p>※下記の機能は動作可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iOSクライアントの初期登録 ・インベントリ収集 ・位置情報取得 ・遠隔時ポリシーの割当 ・全配布ソフトウェアのアンインストール ・パスコード初期化 ・リモートロック ・リモートワイプ ・ソフトウェア配布 ・禁止ソフトウェア設定 ・アプリケーションポータル ・MDM構成プロファイル削除通知

製品名	実行バージョン	iPadOS 13		
		対応状況	対応予定バージョン	対応時期・備考
ISM CloudOne	Ver.6.8i	△	未定	<p>【制限事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監視モード(*)に切り替えない場合、ポリシー構成プロファイルによる端末制御ができません。 ・(*)「Apple Configurator 2」でiOS端末を「監視モード」に切り替えることで端末制御が可能です。ただし、iOS端末単位で設定が必要です。 ・VPP機能が利用できません。 ・「設定アプリ」>「プライバシー」>「位置情報」で、iOSクライアントプログラムの位置情報取得権限を「常に許可」にしなければ、位置情報を取得できません。 ・個人データ取得同意機能が有効な場合、同意文が表示されます。 <p>※下記の機能は動作可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・iOSクライアントの初期登録 ・インベントリ収集 ・位置情報取得 ・遠隔時ポリシーの割当 ・全配布ソフトウェアのアンインストール ・パスコード初期化 ・リモートロック ・リモートワイプ ・ソフトウェア配布 ・禁止ソフトウェア設定 ・アプリケーションポータル ・MDM構成プロファイル削除通知

○：対応済み
△：一部制限ありで動作可能
x：動作検証中 または 未対応
-：非対応

・未定部分は、決定次第お知らせします。
・動作検証中のものは、検証完了次第情報更新します。
・注意事項は対応しない場合があります。